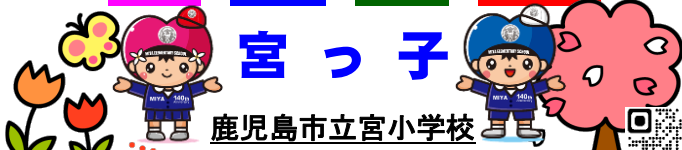


令和7年度宮小学校だより第11号(2月号)

令和8年3月3日

校訓 **考える** **強い** **明るい** **思いやり** の



鹿児島市立宮小学校

※ ホームページにも掲載しています。右の二次元コードより

春の訪れを感じて

校長 山里 浩美

御多用の中、学習発表会を御参観いただきありがとうございました。子供たちは、普段とは違う緊張感の中で、保護者や地域の皆様の温かい眼差しをエネルギーに、これまでの学校生活での学びの成果を十分に発揮し、輝いていました。宮小学校の子供たちは凄い！と心から思いました。

この1年間のお子さんの成長ぶりはいかがだったでしょうか。身長や体重のように目に見える成長だけでなく、4月を思い起こすと、できるようになったことがたくさんあることに気付かれると思います。「自分の気持ちを話せるようになったな。」「次の日の準備が一人でできるようになったな。」など。)今の学年を終える前のこの時期は学校としても子供一人一人の成長を見つめるととても大切な時期です。今、学習面や生活面などを振り返ることで、今年度のまとめと次の学年への更なる成長へとつなげていきたいと考えています。御協力をよろしくお願いいたします。

さて、3月です。学校の梅の花も少しずつ咲き始め、春の訪れを感じます。

「梅一輪 一輪ほどの 暖かさ」という有名な俳句があります。松尾芭蕉の弟子である服部嵐雪(はっとりらんせつ)の句だそうです。「梅が一輪咲いている。それを見ると、一輪ほどのかすかな暖かさが感じられる。」とか、「梅の花が一輪咲くごとに、少しずつ暖かくなっている。」などの解釈があるようです。また、梅の花の花言葉を調べてみると「高潔」、「上品」、「忍耐」、「忠実」でした。寒さに耐えながら凛と咲く梅の花にぴったりな花言葉だと思います。

2月25日(水)には学習発表会が、27日(金)には6年生を送る会とお別れ遠足がありました。そして、3月5日(木)からは卒業式の練習が始まります。美しい梅の花を眺めながら、春に近づいていることを認識し、楽しみを感じつつも6年生の卒業を思うと寂しさも感じます。1年間、宮小学校のリーダーとして、頑張ってきた6年生には宮小学校の仲間との楽しい思い出をたくさんつくって欲しいと思います。



今月の1枚「6年生のプレゼン」



自分たちの思いを反映した卒業式を創り上げるため、会場設営を変更したいことについて、職員にプレゼンしました。

3月行事予定



- 4日(水) 特別校時
- 5日(木) 特別校時, 卒業式全体練習②
- 6日(金) 特別校時
- 9日(月) 特別校時, 卒業式全体練習②
- 10日(火) 特別校時, 清掃強調週間(～13日)
- 11日(水) 特別校時
- 12日(木) 特別校時, 卒業式全体練習②
- 13日(金) 特別校時
- 14日(土) 土曜授業, PTAバザー
- 16日(月) 特別校時, 卒業式予行②③
- 17日(火) 特別校時
- 18日(水) 特別校時, 卒業式全体練習②
- 23日(月) 卒業式準備③④
- 24日(火) 第79回卒業式(1～3年お休み)
- 25日(水) 修了式, 離任式, 大掃除
- 26日(木) 入学用品引き渡し(14:30～)
- 28日(土) PTA送別会

4月行事予定



- 6日(月) 吉田南中体育服等受け渡し(卒業生)
- 8日(水) あいさつ運動, 新任式, 始業式, いじめ問題を考える週間(～14日)
- 9日(木) 特別校時, 入学式, 家庭確認, PTA役員会
- 10日(金) 特別校時, 身体計測等, 心臓検診(1年), 家庭確認
- 13日(月) 身体計測等
- 15日(水) 地震避難訓練(朝活), 検尿1次(～16日)
- 17日(金) 特別校時, 家庭教育学級開級式, 学級PTA, PTA総会, 専門部会
- 18日(土) 子ども食堂「宮っ子」
- 20日(月) 教育相談(希望者)
- 21日(火) 1年生を迎える会, 不審者対応訓練
- 22日(水) 歯科検診, 代表委員会
- 23日(木) 全国学力調査(6年), 教育相談(希望者)
- 24日(金) 検尿1次, 全国学習状況調査(6年)
- 30日(木) 内科検診



来年度の学校経営方針を承認～第4回学校運営協議会～

2月13日(金)に第4回学校運営協議会を開催しました。協議では「自律・自走する子供の育成」のために、子供たちが学習や学校生活の方向を決め、自分たちで学びや学校生活を企画・実践する「子供が主語」の教育実践を令和8年度も継続することを盛り込んだ学校経営方針を提案し、承認されました。また、来年度からの変更点として、次の3点を確認しました。

- 土曜授業は6月と12月の2回(令和7年度は7回)に縮減されること(県の方針:「3回以内」)
- 始業式・入学式の期日の変更されること(県下一斉:4月8日(水)始業式, 4月9日(木)入学式)
- 通知表の配付回数が増えること(学期ごとに計3回→年間2回へ:吉田地区内小中学校で統一)

さらに、市の学校整備室より、今後の学校規模適正化計画の方向性について説明がありました。具体的には、教育の質の確保と市内の公立小中学校の校舎老朽化に対応する予算確保の困難さの面から「近々学年2学級になるように学校の再編を行う計画を作成・提案する」とのことでした。今後、提案に対する市民の意見を聞くとのこと。宮小学校も将来的な再編の対象です。計画の内容を含めた動向を注視したいものです。協議会委員のみなさまからは、次のような質問が出されました(一部抜粋)。

- 学校を統合する必要性は理解できるが、校区コミュニティは学校との連携・協働で成り立っている。校区コミュニティが形として残っても、学校がなくなれば衰退・消滅につながらないか。
- 新しい計画には「この水準に達したら、即統合」等の明確な基準が盛り込まれる見通しか。
- 見通しとして、吉田南中学校区の小学校が統合されるのは近々なのか、まだ先の話なのか。

おはようございます!



入賞作品を選びました～新ワッペンデザインコンテスト～

「宮校区みんな笑顔であいさつ運動」の更なる充実策として、新しいワッペンのデザインを募集しました。応募数は32作品。全てをワッペンにすることは難しいため、2月13日(金)の学校運営協議会終了後に作品審査会を行いました。審査の結果、新ワッペンデザインに選ばれたのは下の6作品です。おめでとうございます(表彰は、3月19日(金)の授賞式(朝の活動)で行います。)



【1年 ○○○○さん】

おはようと挨拶をされると、温かい気持ちになって、その人のことが大好きになるからです。



【2年 ○○○○さん】

帽子をかぶっている人が挨拶をするピクトグラムです。自然がいっぱいの宮小学校と、安全をイメージして明るい緑色にしました。二人の間に「宮」の白い文字が見えるように太陽とにこにこの顔を考えました。



【3年 ○○○○さん】

世界と日本と宮校区という意味と、差別なくみんな生きているから、差別やいじめをなくしてみんないい気持ちで挨拶をしようという意味をこめました。



【4年 ○○○○さん】

みんな笑顔で楽しく挨拶ができて、明るくなるような感じのデザインにしました。



【5年 ○○○○さん】

友達とにっこり笑顔で挨拶できるようにデザインを工夫しました。



【6年 ○○○○さん】

挨拶をして「こころ(宮校区)」に「花畑(明るさ, 幸せ)」を広げようという思いをこめました。緑豊かな宮校区を生かし、「花畑」のキーワードを使いました。



1年生の活躍に成長を感じました～新1年生との交流学習～

2月17日(火)、来年度入学予定の9人が1年教室にやってきました。この日のために生活科等で係を決めて「あたらしい1ねんせいをむかえるかい」の準備をしてきた1年生は、やる気満々。少し緊張気味の新1年生を優しくサポートしながら、仲良しタイムや宮小クイズ、行事や学習の説明を行いました。紙芝居をする頃には新1年生の緊張もほぐれ、笑顔が見られました。すっかり仲良しになった子供たち。小さなお兄さんとお姉さんとして、優しく丁寧に教える1年生の姿に1年間の成長を感じました。最後は、自分たちで作った折り紙をプレゼントしてお別れしました。自分たちの企画を無事にやり遂げて、満足気な1年生。その姿は、もうすっかり新しい2年生でした。



【新1年生との交流学習】



学びの成果を発表しました～「子供が主語」の学習発表会～

2月25日(水)に学習発表会を行いました。延期になったとはいえ、インフルエンザの蔓延で十分な練習ができない状況での発表会となりましたが、子供たちは、これまでの学びの成果を保護者のみなさまや地域の方々へ伝えようと、一人一人が精一杯自分たちの思いを表現しました。

主体的に学ぼうとする子供の意欲を高めるためには、その成果を発表する場が必要です。なぜなら、「おうちの方に(相手)」、「〇〇についての自分の考えを(内容)」、「分かりやすく伝えるためには……(方法)」など、その学習に取り組む必然性や学ぶ目的が明確になるからです。

本年度の学習発表会も、日々の学びと関連付けながら、発表内容を自分たちで工夫することに取り組みました。また、運営面では、学習発表会実行委員会を結成し、プログラム作成や当日の進行も子供たちが行いました。発表も運営も企画段階から子供たちが関わり、「こうしたい」を形にできたことが本年度の成果です。来年度は、この成果を生かしつつ、生活科と総合的な学習の時間の成果発表の場とした「生活・総合発表会」を授業参観の一環として位置付けます。生活科や総合的な学習の時間を更に充実した探究的な学びの場とすることがねらいです。新たな試みがどのような成果につながるか、御期待ください。



【1年生：「もうすぐ2年生」】



【2年生：「生きてるってすごい!」】



【3年生：「何がすき?」】



【4年生：「夢に近づくための力」】



【5年生：「未来のわたし」】



【6年生：「宮小の壁」】



【実行委員による進行】

来年度も共に学び合いましょう～家庭教育学級閉級式、学級PTA～

2月25日(水)に行われた家庭教育学級閉級式と学級PTAには、御多用の中に御参加くださりありがとうございました。家庭教育学級閉級式では、修了証書をお渡しし、本年度の学びについて振り返りました。学級PTAでは、どの学級もざっくばらんに情報交換をしながら、和やかな雰囲気の中で本年度最後の学級PTAを締めくくることができました。また、令和8年度の学級委員長選出と所属専門部の割り振りもみなさまの御協力が無事に決まりました。来年度の学級委員長に内定したみなさまの中には、不安を感じていらっしゃる方がいるかもしれませんが、令和8年度もみんなで支え合い、共に学び合える学級PTAの運営に努めていきたいと考えています。学級PTAの運営について御不明な点やお困りのことがありましたら、いつでも遠慮なく学校に御相談ください。

合同の防災教室開催に向けて～第2回安心安全ネットワーク会議～

2月26日(木)に、第2回安心安全ネットワーク会議を開催しました。今回のテーマは、「令和8年度学校・家庭・校区合同の防災教室」の内容を協議することでした。宮校区は多くの箇所が土砂災害の特別警戒区域または警戒区域に指定されており、南海トラフ地震発生時には大規模な土砂災害が予想されます。そうすると、あらゆる場所でライフラインが寸断され、避難所である宮小学校での避難生活が長期に渡ると考えられます。この課題には、校区全体で向き合い、備えるべきです。今回のネットワーク会議でも「今、何を学ぶべきか」について熱心な協議が行われました。ちなみに、令和8年度の合同の防災教室は、6月13日(土)に実施予定です(1～2校時)。これから、具体的な計画を練りますので、充実させるためのアイデアをおもちの方がいいと思います。ぜひ、宮小学校教頭(099-294-2050)まで御連絡ください。



【熱心な協議の様子】

道路交通法施行規則が変わります～車両の運転者の自覚と責任を～

安心安全ネットワーク会議には、吉田交番からの情報提供の時間も位置付けています。今回の情報提供で吉田交番の〇〇さんが強調されていたのは、「令和8年4月1日から、自転車にも『交通反則通告制度』が導入される」話題でした。具体的には、道路交通法施行規則が改正され、16歳以上を対象として、自転車の違反も他の車両と同様に反則金料の対象になるそうです。「対象が16歳以上だから小学生には関係ない」ではなく、考えたいのは改正される理由です。警視庁のホームページによれば、「自転車の『ながらスマホ』や酒気帯び運転などの悪質・危険な違反の増加に伴う事故防止と、16歳以上を対象とした交通反則通告制度(青切符)の導入による取締りの強化」とのこと。2学期の学校評価(保護者)の自由記述に、ヘルメットをかぶらずに自転車を運転している子供を心配する意見がありました。小さな交通違反の放置は悪質・危険な交通違反につながり、悪質・危険な交通違反の放置は、重大な交通事故につながります。今回の施行規則改正を周知するパンフレットの表紙には、「車両の運転者としての自覚と責任を……」と書かれています。子供たちを交通事故の加害者・被害者にならないためにも、小さな交通ルールを守らせる指導や言葉掛けを学校・家庭・地域一体となって行っていきましょう。



【吉田交番からの情報提供】

「子供が主語の卒業式」に向けて～6年生が職員にプレゼン～

6年生は、「子供が主語の卒業式」に向けてプロジェクトチームを立ち上げ、その準備に余念がありません。これまでの卒業式は、教師が企画した流れを子供たちが体現する形で進められてきました。しかし、「子供が主語の学校生活」を掲げる宮小学校では、本年度から卒業式の在り方も子供たちに委ねることにしました。つまり、「こうあるべき」という形を子供に指示する形ではなく、「こうしたい」というアイデアを子供たちが提案し、その実現を教師がサポートする形に方向転換したということです。



【6年生のプレゼンの様子】

もちろん、子供たちの提案を鵜呑みにするわけではありません。中学校生活への新たな一歩を踏み出すきっかけにするために「厳かな雰囲気や感動を卒業生が味わうこと」、「6年間の学校生活を振り返り、成長を支えてくださった全ての方への感謝を伝えること」等の目的から外れるアイデアについては、再考を促すこともあり得ます。そんな中、6年生の卒業式プロジェクトチームから、「卒業式の会場設営を変更したいので、先生方にその案をプレゼンしたい」と申し出がありました。

2月27日(金)の放課後、6年教室にプロジェクトチームの子供たちと職員が集まり、新たな会場設営案についてのプレゼンと協議が行われました。「面と向かって感謝の気持ちを伝えるために、保護者と卒業生が向かい合う設営にしたい」という子供たちの熱い思いを形にした提案を受け、協議では「この提案は、6年生全員の考えか、プロジェクトチームの考えか(回答:6年生全員の考え)」といった質疑応答や「実際に会場を設営してみて、困ることがないかを事前に確かめるべき」というアドバイスが交わされました。

将来に役立つ力を身に付けることが学校の役割ならば、今子供たちに身に付けるべき力は、「自分(たち)の思いを実現するためにアイデアを集め、企画・提案し、実践する力」や「仮に失敗したとしても、その要因を振り返り、内容や方法を改善して次の実践につなげていく力」だと宮小学校では考えています。思いを熱くプレゼンをする6年生を見ながら、「子供が主語の学校生活」の成果を実感することでした。